

# 生産終了商品

SYSMAC CS1 ボード



### 形CS1PC-PCIO1-DRM



# 推奨代替商品

SYSMAC CS1 ボード

### 形CS1PC-PCIO1H-DRM

#### 2008年9月末生産終了予定

#### 推奨代替商品をご利用いただいた場合の注意点

代替推奨品は形状や機能およびプログラムも従 来品と互換性があります。

但し、従来品を代替推奨品へ変更する場合は、 次の点をご注意ください。

- 1. PLC演算処理性能が向上していますので入出力 応答のタイミングが向上します。
- 2. プログラミングツールCX-PはVer.5.0以降をご 使用ください。(新機能対応版)
- 3. 代替推奨品でも問題なく動作することをご確認ください。

#### 生産終了予定商品との相違点

形式	本体 の色						
形CS1PC-PCIO1H-DRM	_	0	0	0	$\circ$	$\circ$	$\circ$

◎:完全互換

○:ほとんど変更ありません/相似性の高い変更

×:変更大

- :該当する仕様がありません

#### 生産終了予定商品と推奨代替商品

生産終了予定商品	推奨代替商品	標準価格(¥)	
形CS1PC-PCI01-DRM	形CS1PC-PCI01H-DRM	オープン	

### 変化点一覧

本ボードは、生産終了予定商品はCS1G-CPU45-V1相当、推奨代替商品はCS1G-CPU45H V3.0相当のPLCボードです。 そのため変化点は、CS1G-CPU45-V1とCS1G-CPU45H V3.0との違いおよびPLCボード固有の変更点となります。

項目	生産終了予定商品 形CS1PC-PCI01-DRM	推奨代替商品 形CS1PC-PCI01H-DRM	
DIP-SWの機能削減	SW3: プロコンメッセージ 日本語/英語切替	SW3:常時OFF	
プロコンの表示言語切替	SW3 に依存 (英語:ON/日本語:OFF)	プロコン接続時の操作による設定 (英語:クリア→モニタ→3 日本語:クリア→モニタ→クリア)	
運転開始時の動作モード	プロコンのキー SWに依存するが、 プロコン未装着時は プログラムモード(停止)	プロコンのキー SWに依存するが、 プロコン未装着時は運転モード	
電断割込みタスク 最大許容時間	2ms	lms	
フロントパネルに LEDを追加	RUN, ERR/ALM, PRPHL, MS, NS	RUN、ERR/ALM、BKUP(追加)、 PRPHL、MS、NS	
DIP-SWの形状変更	フジソク製	コパル電子製	
フロントパネルの 印刷デザインを変更	LED表示内容	LED表示内容 Hマーク(←追加)	
基板上面銘板部への 安全規格マーキング	なし	CEマークあり	
消費電流	1.7A	1.3A	
命令実行時間	LD : $0.08 \mu\text{s} / \text{OUT} : 0.21 \mu\text{s}$	LD : $0.04 \mu\text{s} / \text{OUT} : 0.04 \mu\text{s}$	
命令数追加	363種類 595個	484種類 775個	
データメモリ	128kワード(DM+EMの容量)	128kワード(DM+EMの容量)	
共通処理時間	0.5ms	0.3ms(通常モード)、 0.2ms(並列処理モード)	
FB/ST言語の実行	不可	可能	
I/Oコメントの保存	ファイル化したメモリカードのみ	CPU本体フラッシュメモリ、 ファイル化したメモリカード	
SCU無手順機能	不可	可能	
シリアルゲートウェイ機能	不可	可能	
C1000H互換命令	なし	あり(XFERC、MOVBC、DISTC、COLLC、BCNTC)	
GETID命令追加	なし	あり	
タスク単位でのプログラムの ダウンロード/アップロード	不可	可能 (FB使用時制限あり)	
パスワードによる読出し プロテクトの機能強化	不可	可能 (FB使用時制限あり)	
ネットワーク経由での、 CPU部に対する FINS書込みプロテクト	不可	可能	
I/Oテーブル未作成状態 での、ネットワーク経由 オンライン接続	不可	可能	
ネットワーク越え 最大階層数	3階層	8階層	
NS経由でオンライン接続	不可	可能	
スロット先頭CH設定	最大8グループ	最大64グループ	

## 変更内容

項目	生産終了予定商品 形CS1PC-PCI01-DRM	推奨代替商品 形CS1PC-PCI01H-DRM
パラメータファイル(.SDT) なしでの電源ON時 自動転送	不可	可能
CPU実行処理モード	①通常モード ②周辺サービス優先モード	<ul><li>①通常モード</li><li>②周辺サービス優先モード</li><li>③I/Oメモリ同期アクセス 並列処理モード</li><li>④I/Oメモリ非同期アクセス 並列処理モート</li></ul>
CPU高機能ユニットの リフレッシュタイミング	I/Oリフレッシュ時のみ	I/Oリフレッシュ時、 およびDLINK 命令実行時
割込みタスクをTKON命令 によりサイクリック実行 (追加タスクの有無)	不可 サイクリック実行タスク32個のみ	可能 サイクリックタスク+追加タスクで 最大288個のタスク
インデックスレジスタ/ データレジスタのタスク ごとの独立/共通設定	不可 タスクごとの独立のみ	可能 タスク共通にした場合、タスク切替 高速化
タスク起動のタイミングで の初期化処理	タスク初回起動フラグのみ	可能 タスク起動フラグを追加
複数タスクからの サブルーチンの起動	不可	可能 グローバルサブルーチンを 特定タスクに配置可能
1 つの命令実行中の割り込 みタスクの実行タイミング	命令実行中に割込タスクの条件が そろうと、実行中命令を中断して 割り込みタスクが起動	BCNT、XFER命令のみ、 命令実行後に割り込みタスクを起動 (データの同時性確保)
メモリカードへの バックアップデータ (簡易バックアップ)	CPUユニット内のプログラム、 パラメータ、I/Oメモリのみ	左記に加えて、ユニット(対応しているもののみ)内部のバックアップ対象をメモリカードにバックアップ可能。メモリ異常発生中の簡易バックアップが可能
ユーザプログラムおよび パラメータエリアの CPUユニット内の フラッシュメモリへの 自動バックアップ機能	不可	可能 メモリカードなしでの 簡易バッテリレス運転が可能
I/Oテーブル作成エラー時 の詳細情報の表示	不可	特殊補助リレー A261に格納
プロコンでのラック先頭 チャネル設定の有無表示	不可	可能
微分型LD NOT、AND NOT、OR NOT命令	不可 微分型LD、AND、ORとNOTとの 組み合わせで実現	可能
OUTB、SETB、RSTB命令 でDM/EMエリアのビット アドレスを指定して実行	不可	可能
タイマ/カウンタ命令の 現在値更新方式	BCD方式のみ	BCD方式またはBIN方式選択可能 (CX-Programmer Ver.3.0以降)

## 変更内容

	生産終了予定商品 形CS1PC-PCI01-DRM	推奨代替商品 形CS1PC-PCI01H-DRM
APR命令での、32ビット 符号付データでの 折れ線座標設定、 X軸の開始点の任意設定	不可	可能
単精度/倍精度浮動小数点 比較・演算命令	不可	可能
単精度浮動小数点データと 文字列データ間の変換	不可	可能
文字列処理命令、テーブル データ処理命令の実行	通常実行のみ	バックグランド実行/通常実行の 指定が可能
テーブルデータ処理命令で 任意のスタックエリアの 挿入/削除/置換、 スタックデータ数カウント	不可	可能
オートチューニング付 PID命令	不可	可能
グローバルサブルーチン 命令	不可	可能
FAL命令実行時の異常履歴 格納の有無指定	不可	可能
FAL/FALS命令による 指定異常状態の発生	不可	可能
ZCP、ZCPL命令 (αシリーズとの互換性)	不可	可能
インデックスレジスタ内の I/Oメモリ実行アドレスの CVM1/CV用との変換に おける互換性	なし	あり CVM1/CVのI/Oメモリ実行アドレ スをCSシリーズのI/Oメモリ実行ア ドレスに変換してインデックスレジ スタに格納、逆も可
コンディションフラグの 退避/復旧における CVM1/CVとの互換性	なし	あり CCL、CCS命令により可能
ユニット/INNERボード の立ち上がり処理時の サービス開始時間	CPU待機中(固定)	電源ON後「運転」または「モニタ」 モードの場合、ユニットまたは INNERボードの立ち上がり未完了時 に、CPUユニットの運転を開始する か/待機中とするか設定可能
電断禁止区間設定機能	なし	あり DI-EI間では電断発生時も電断処理 せず命令を実行
コンディションフラグの 動作	以下の命令実行で、=、N、ERフラグ はOFFとなる。 TIM、TIMH、TIMHH、CNT、IL、 ILC、JMP0、JME0、XCHG、XCGL、 MOVR、入力型比較、CMP、CMPL、 CPS、CPSL、TST、TSTN	以下の命令実行で、=、N、ERフラグ は保持される。 TIM、TIMH、TIMHH、CNT、IL、 ILC、JMP0、JME0、XCHG、XCGL、 MOVR、入力型比較、CMP、CMPL、 CPS、CPSL、TST、TSTN、STC、CLC
使用可能な CX-Programmer	全バージョン	CPUがVer.3機能を使用しない場合、 CX-PはVer.2.1以降 CPUがVer.3 機能を使用する場合、 CX-PはVer.5.0以降